

ワンポイント

ひーよ/東部ブロック



私この度、会社の環境整備部門に配置換えとなり、会社の周りの樹木や草花の手入れなどをする担当となりました。小さなころから草花や木々が当たり前に家の周りにあり、地域周辺にも溢れるような豊かな緑があり、そんな環境の中でしぜんと木々に馴染み、緑にかこまれた生活が何とも言えぬソフトなパワーを与えてくれ、私の設計の感性にいつしか深く染みついてきたと思っています。

普段から街並みや建築を見るとき、緑がどのようにデザインされてるのかな、緑がどのように活かされてるのかな、と建築はさることながら緑の扱いのほうに興味が行ってしまいます。特に折々の季節をどのように取り入れているのかに関心を持ちます。

寒かった冬が終わり若木の芽吹きに勢いと希望を感じ、そして満開の桜に感動し、生い茂った濃い緑は強い日差しを遮ってくれたり、風雨の盾になってくれたりして、やがて真っ赤な紅葉に心打たれ、そろそろ寒くなってくると落葉した木はサンサンと日差しを注いでくれる、この四季の移りが心を癒してくれるのです。

時代とともに都市や街並みや住宅は、機能や社会構成の変化や老朽化などのために創りかえられていく過程で、いつしか緑が減ってきているのですが、そんな中でも様々に工夫をこらして緑をとりいれている街や建築に出会ったときは、心洗われる思いがして、しばらく立ち止まり、そこで居心地の良さを享受させてもらいます。

一軒の住宅でもそうですが、狭いながらも敷地の片隅に植えた、たった一本の木が何ともすごいパワーで、周りに癒しを放ってるのを見ることがあります。その家の前を歩くときはなぜかルンルン気分になり、居心地の良さを感じさせてもらえます。

木の多さでなく、ワンポイントのたった一本の木にオシャレでしかも強烈な存在感と威力を感じます。最近、そんなワンポイント植樹があそこにも、ここにも・・・ありがとう

子育て

小笠の無責任男/西部ブロック



5月初め頃私の事務所玄関ポーチ上部に鳥が巣を作り始めました。鳥の名称はイソヒヨドリと言うそうです。(孫の言による)

せっせと親鳥が巣造りの為に材料を運んでいました。しばらくするとピークパーチクと巣から小鳥が無く声が聞こえてきました。今度は親鳥がせっせと餌を運んできました。種の保存の為なのかハタマタ母性本能のなせる業なのか一生懸命に見えました。巣作りから20日後事務所の玄関先に丸々と肥え太った小鳥が落ちてきました。もうすぐにでも飛べそうな雰囲気でしたが、2～3日は、事務所の玄関付近にいついていました。その間も親鳥は小鳥の為にせっせと餌を運んできたようです。その時は大変でした事務所の玄関ポーチに鳥の糞がいたる所に散乱していました。そのうち、鳥たちはどこかに行ってしまいました。鳥の子育てをしばらく見ていましたが、昨今のテレビニュースで放送される子どもの虐待事件など鳥たちの子育てを見てみると、子供を虐待する人間たちの行為は鳥たちと比べてかなり劣っているように思えてなりません。鳥の子育てを見てきましたが世の人間たちも見習って欲しいものです。自分も子供が3人いますが大きく育てて皆一人前になってくれてよかったと思います。私は人間の親より鳥の親の様でありたいと思いました。

